

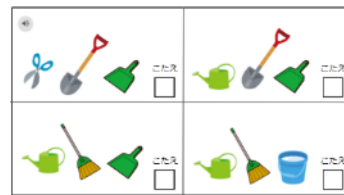
教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
聞き取り学習 ～こたえはどれ？～	中	国語数学 Cグループ (国語)	田中辰弥

<ねらい>

- ものの名前等の複数のヒントを聞いて、イラストから正しく選ぶことができる。
- イラストを見て、自分でヒントを考えたり、正確な情報を伝えたりすることができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

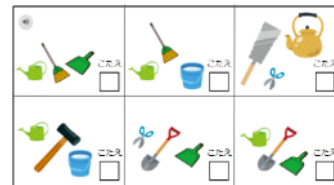
1. 4～6つのイラストをテレビに提示する。
1つ1つのものの名前を確認する。



2. 3つのヒントを伝える。

生徒は1つ1つのヒントを聞いて
イラストの中に印を記入する。

3. 3つのヒントが当てはまるイラストを選び、
答えの欄に○を記入する。



4. 答え合わせを行う。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 生徒の興味や関心に合わせたイラストを用いることで、生徒が楽しみながら積極的に学習に取り組むことができた。
- 同じもののイラストを複数示し、三文節（例：「バケツが2つあります。」）でヒントを伝えた際は、聞き取ることが難しい生徒が多いため、二文節でヒントを出すよう取り組んだ。
- イラストの中に印を記入していくことで、ヒントを正確に聞くことができた。
- 聞き取れなかった時には、「もう一回言ってください。」と聞き返すルールを設けたことで生徒の不安が減ったり、自分のミスを受け入れて活動をやり直したりすることができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- Google スライド